

目標管理型の政策評価に係る評価書の標準様式

施策名	目標4-3 一般廃棄物対策(排出抑制・リサイクル・適正処理等)					
施策の概要	一般廃棄物の排出抑制、リサイクル、適正処理等を推進する。					
達成すべき目標	一般廃棄物の排出抑制、リサイクル、適正処理等について施策の総合的かつ計画的な推進を図る。					
施策の予算額・執行額等	区分	22年度	23年度	24年度	25年度	
	予算の状況(千円)	当初予算(a)	49,028,000	44,345,000	43,294,000	126,095,000
		補正予算(b)	0	17,106,000	17,879,000	0
		繰り越し等(c)	17,111,000	1,196,000	290,782,000	
		合計(a+b+c)	66,139,000	62,647,000	351,955,000	
執行額(千円)	60,882,000	54,158,000	(*記入は任意)			
施策に関する内閣の重要政策(施政方針演説等のうち主なもの)						

測定指標	1 一般廃棄物の排出量(百万トン)	基準値	実績値					目標値
		12年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	32年度(27年度)
		55	48	46	45	45(災害廃棄物を入れると50)	調査中	41(49)
		年度ごとの目標値						
	2 一般廃棄物のリサイクル率(%)	基準値	実績値					目標値
		24年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	29年度
		22(見込み)	20	20	21	20(災害廃棄物を入れると25)	調査中	26
		年度ごとの目標値						
	3 一般廃棄物の最終処分量(百万トン)	基準値	実績値					目標値
		9年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	27年度
		12	5.5	5.1	4.8	4.8(災害廃棄物を入れると5.3)	調査中	5.0
		年度ごとの目標値						
	4 一般廃棄物焼却炉からのダイオキシン類の排出量(g-TEQ/年)	基準値	実績値					目標値
		15年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	当面の間
		71	42	36	33	32	調査中	33
		年度ごとの目標値						

施策に関する評価結果	目標の達成状況	<p>○東日本大震災等の災害によって生じた廃棄物を除くと、平成23年度の一般廃棄物の排出量は45百万トン。平成27年度において達成するとしている中間目標の49百万トンを前倒しで達成している。</p> <p>○東日本大震災等の災害によって生じた廃棄物を除くと、平成23年度の一般廃棄物のリサイクル率は20%。平成29年度の目標値である26%を下回っていることから、現時点では目標を達成していない。リサイクル率は、毎年着実に増加してきたが、ここ数年間は横ばいで推移している。</p> <p>○東日本大震災等の災害によって生じた廃棄物を除くと、平成23年度の一般廃棄物の最終処分量は4.8百万トン。平成27年度の目標値である5.0百万トンを下回っていることから、現時点では目標を達成している。最終処分量は、減少傾向が継続している。</p> <p>○平成23年度の一般廃棄物焼却炉からのダイオキシン類の排出量は32g-TEQ/年。当面の間の目標値である33g-TEQ/年を下回っていることから、現時点では、目標を達成している。</p>
	目標期間終了時点の総括	—

学識経験を有する者の知見の活用	
-----------------	--

政策評価を行う過程において使用した資料その他の情報	一般廃棄物処理実態調査
---------------------------	-------------

担当部局名	大臣官房廃棄物・リサイクル対策部廃棄物対策課	作成責任者名	山本 昌宏	政策評価実施時期	平成25年6月
-------	------------------------	--------	-------	----------	---------